

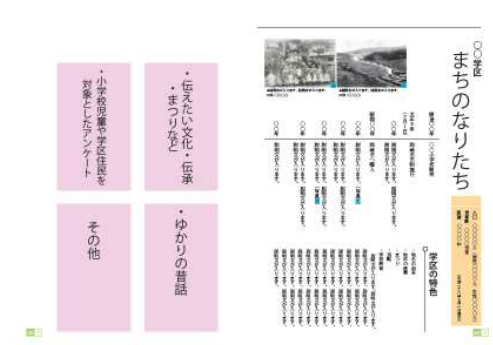
100周年記念事業 学区記念誌作成業務 〔予算額 24,542千円〕		市民生活部市民協働推進課 市民自治班(23-6047)
財源内訳	一般財源 24,542千円	
支出内訳	2款2項1目 自治振興費／学区記念誌作成事業費負担金 24,542千円	

【事業概要】

市制 100 周年を記念して 47 の小学校区ごとに地域において積み重ねてきた歴史や文化、逸話や自然、景観などを「地域の自慢」として、総代会を中心に原稿や資料を作成し、岡崎市全体で 1 冊の本「岡崎まちものがたり」にまとめ、次代に引き継いでいきます。
(ホームページにも掲載予定)

【掲載内容】(各学区 8 ページ) イメージ

(1) 学区の年表、特色等



(2) 学区のマップ



(3) 残したい風景、名勝、宝物等



(4) 編集後記（作成に携わった団体や氏名、所感等）



**平成28年度
完成予定**

新規	女性活躍推進業務 〔予算額 4,880千円〕	文化芸術部文化活動推進課 男女共同参画班(23-6222)
財源内訳	一般財源 4,880千円	
支出内訳	2款2項3目 男女共同参画費／講師等報償金 329千円、県内旅費 7千円、特別旅費 35千円、消耗品費 63千円、モデル地区事業委託料 100千円、女性活躍推進実態調査委託料 3,996千円、イベント開催委託料 350千円	

【事業概要】

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づき、女性が職業生活においてその能力を十分に発揮し、活躍できる環境づくりの支援を進めます。



【女性活躍推進法】

女性が職業生活において、自らの意思によって職業生活を営み、又は営もうとする女性の個性と能力が十分に発揮され、女性の職業生活における活躍を推進し、豊かで活力ある社会の実現を図るために平成27年9月に施行された10年間の時限立法。



【主な事業内容】

■女性活躍推進実態調査の実施

市内事業所を対象に、女性活躍推進法に基づく一般事業主の状況把握項目等について実態調査を実施し、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業にインセンティブを与えるため、優良企業に関する情報発信を行うパンフレット等を作成します。

■イベントの開催

社会全体の働き方や意識の改革等を目指す啓発イベント（女性活躍推進啓発セミナー、フェスタ、映画上映等）を開催します。

新規	地域防犯カメラ設置事業補助業務〔予算額 10,000千円〕	市民生活部安全安心課 生活安心班(23-6219)
財源内訳	一般財源 10,000千円	
支出内訳	2款2項2目 安全安心推進費／地域防犯カメラ設置事業費補助金 10,000千円	

●事業概要

地域が街頭に防犯カメラを設置することに対し
補助金を交付することにより
これを促進し、犯罪の抑止を図ります。

交付先：学区総代会

補助率：5分の4

(1申請当たり300万円を上限)

補助対象経費：防犯カメラ設置費

(維持管理に係る費用は含まない。)



防犯カメラ
作動中

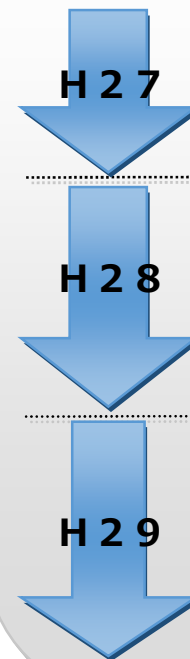
新規	地震対策アクションプラン策定業務 〔予算額 10,219千円〕	市長公室防災危機管理課 危機管理班(23-6533)
財源内訳	一般財源 10,219 千円	
支出内訳	9款1項4目 災害対策費／地震対策アクションプラン策定委託料 10,219千円	

南海トラフ巨大地震対策を的確に推進するため、減災目標を明確化し、目標達成のための具体的施策を行動計画として取りまとめた、「(仮称) 岡崎市地震対策アクションプラン」を策定します。

【アクションプランの内容】

- 減災目標の設定
- 災害予防対策の具体的施策と実施計画
- 災害応急救助対策の具体的施策と実施計画
- 災害復旧・復興の具体的施策と実施計画
- 重点的に取り組むプログラム

【策定スケジュール】



庁内検討会・有識者会議の開催



市民アンケート、関係法令等の整理、
地震対策進捗管理、中間報告書作成

対策事業期間・減災目標の設定、パブリックコメント実施、計画書作成

総合雨水対策計画策定業務〔予算額 61,475千円〕

土木建設部河川課
総合雨水対策班(23-6057)

財源内訳	一般財源 61,475千円
支出内訳	8款4項1目 河川総務費／食糧費 216千円、印刷製本費 843千円、総合雨水対策計画策定委託料 39,982千円、 総合雨水対策施設測量設計委託料 20,369千円、会場使用料 65千円

- 頻発する局地的な集中豪雨や都市型水害に対し、市民・事業者・行政が一体となった効率的で効果的な浸水対策に取り組むための総合雨水対策を推進し、水害に対して安全安心なまちづくりの実現を目指します。
- 平成 28 年度は、氾濫解析により浸水の発生要因や地形特性などを整理し、「浸水リスクの見える化」による新たな浸水被害を防ぐ対策や、河川・下水道が連携した効果的なハード対策などの検討を進めます。



河川・排水路改修事業〔予算額 873,547千円〕

土木建設部河川課
工事班(23-6614)

財源内訳	国庫支出金 14,000 千円、市債 417,000 千円、一般財源 442,547 千円
支出内訳	8款4項3目 河川新設改良費／土地鑑定手数料 350千円、測量設計委託料 29,970千円、物件調査委託料 697千円、河川改修工事請負費 539,406千円、排水路改修工事請負費 94,414千円、貯留浸透施設整備工事請負費 7,560千円、調整池改修工事請負費 3,456千円、土地購入費 1,500千円、樋管改築工事負担金 115,500千円、建物等移転補償金 3,000千円、電柱移設補償金 29,570千円、水道管移設補償金 35,400千円、ガス管移設補償金 2,640千円、下水道管移設補償金 10,084千円

- 台風や集中豪雨による浸水被害を軽減し、地域の排水能力・生活環境の向上を図るため、河川及び排水路の整備を行うとともに、流域での浸透事業による雨水流出抑制を進めます。

【主な河川改修事業】

- ・準用河川 上地新川 (河道改修、橋梁改築3橋)
- ・準用河川 六斗目川 (河道改修、橋梁改築1橋)
- ・広田川関連排水対策 (樋管改築工事負担金)
- ・普通河川 渡下支川 (函渠整備)



一級河川広田川の改修（愛知県施工）と連携して河道改修を進めています。

改修後



自然に配慮した川づくりに努めています。



【主な排水路改修事業】

- ・大平瓦屋前・下和田北浦（水路整備）
- ・浸透型排水路整備



新規 消防指令システム共同整備業務〔予算額 4,796千円〕

消防本部総務課
経理班(21-9846)

財源内訳 分担金及び負担金 1,169千円、一般財源 3,627千円

支出内訳 9款1項3目 消防施設費／実施設計委託料 4,796千円

事業概要

現行の消防指令システムの更新に合わせた平成30年度からの幸田町との消防指令業務の共同運用の実施に向け、運用に必要な消防指令システムを共同で整備します。なお、共同運用後も岡崎市が出勤する範囲は、岡崎市内となります。

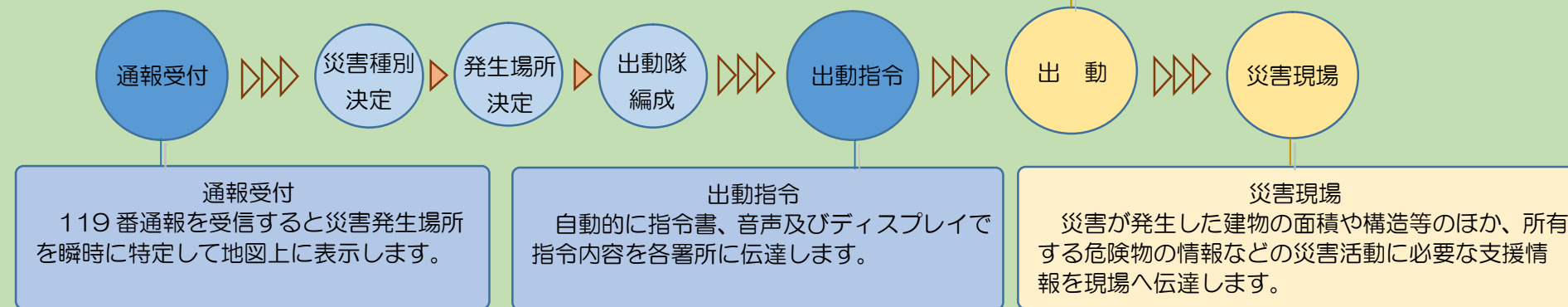
事業スケジュール

平成28年度：消防指令システムの構築に必要な設計業務

平成29年度：消防指令システム整備業務

消防指令システムとは

119番通報を受け付け、迅速な出勤指令を行います。
また、災害現場では、様々な支援情報を提供します。



出勤

車両搭載の車両運用端末により、災害地点周辺の地図や指令内容を表示。
他の車両の位置情報や消防水利等の消防活動に必要な情報を表示。

